

大総務第 73 号
令和 8 年 3 月 23 日

大阪市外郭団体評価委員会
委員長 小林 あや 様

大阪市長 横山 英幸
(担当：総務局行政部総務課法人グループ)

諮問書

大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例（平成 25 年大阪市条例第 10 号）第 7 条第 1 項に規定する外郭団体である社会福祉法人大阪社会医療センターによる令和 7 年度の経営評価（対象事業活動の実績）の結果及び所管所属である大阪市福祉局による大阪市外郭団体の事業経営の評価等に関する指針を定める規程第 4 条第 3 号イの規定に基づく当該経営評価の審査の結果について、同条例第 7 条第 4 項の規定に基づき、別紙により諮問します。

令和7年度 事業経営評価

団体名	(社福) 大阪社会医療センター	所管所属名	福祉局
-----	-----------------	-------	-----

中期目標	(1) 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容
	<p>あいりん地域及びその周辺地域において、無料低額診療及び医療・福祉に関する相談支援等のサービスを総合的かつ一体的に提供する。</p>
	(2) 中期目標期間
	令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年
中期目標	(3) 中期目標の期間終了時において、(1)の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態
	<p>あいりん地域及びその周辺地域において、無料低額診療及び医療・福祉に関する相談支援などのサービスを必要とする対象者に、当該サービスが適切に提供され保健と福祉の増進が図れている状態</p>

外郭団体の自己評価	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価	
	<p>目標を上回る活動を通じて、関係機関等との連携基盤の維持及び強化を行うとともに、実施職員の資質の向上を図ったことにより、サービスを必要とする対象者個々に応じた適切な相談支援に資することができたと考える。</p>	
	最終目標達成見込み	<p>ア：達成 イ：未達成（計画の見直しは不要） ウ：未達成（計画の見直しが必要）</p>
	最終目標達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について	
当該事業年度の市の評価	<p>一過性ではなく継続的に取組を行うことで、医療と福祉に関する相談支援が総合的かつ一体的に提供できると考えるため、次年以降の目標達成はもちろんのこと、連携基盤の維持及び強化、職員の資質の向上に向けて継続的に取組を実施していく。</p>	
	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価	
	<p>あいりん地域にはかつて多くの日雇労働者が流入し、現在はその方たちの高齢化が進んでいる。また、本市のホームレス数は依然として多く、市外からの流入も続いている。不安定な就労状態にあることで安定した収入がない方も多数存在しており、社会的、経済的理由により必要な医療を受けることが困難な状況に陥りやすいことから、これらの生計困難者が経済的な理由により必要な医療を受ける機会を制限されないことがないよう、無料又は低額な料金で診療を行う無料低額診療事業を継続して実施すると共に、医療・福祉に関する相談支援等のサービスを総合的かつ一体的に提供していく必要がある。</p> <p>団体が当該事業年度に行った取組は本市の行政目的に合致するものであり、本市が団体に期待する役割を充分果たしてきたと評価する。</p>	
助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪世外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ）		

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組一	(※分野ごとの評価)
中期計画	団体が 中期計画期間中 に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容
	医療・福祉に関する相談支援等のサービスを必要とする対象者に対しての生活保護の申請、療養、その他社会保障制度等の医療・福祉に関する支援を適切に実施するための、行政機関や西成労働福祉センター等の支援機関等との連携基盤の維持及び強化を行うとともに、実施職員の資質の向上(支援スキルアップ)を図る。

年度計画達成状況	【計画】団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容		【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容		
	あいりん地区現地懇談会(主催:西成労働福祉センター)目標年2回、あいりん地区担当者連絡会(主催:大阪社会医療センター)目標年2回、モデルケース検討会(主催:西成区役所)目標年6回、病院勉強会(主催:連携している他病院)目標年2回、延べ年12回の主催や参加を継続的に実施し、連携基盤の維持及び強化を行うとともに、職員の資質向上を図る。		あいりん地区現地懇談会2回参加、あいりん地区担当者連絡会3回主催、モデルケース検討会7回参加、病院勉強会3回参加、延べ15回的主催・参加を実施した。		
	指標 I	あいりん地域における行政機関などとの情報連携、各種支援関係機関などとのケース検討会、他病院との連携による合同勉強会等の参加回数			
		R7	R8	R9【最終】	
	目標値	9回			
	実績値	15回			
参考: 中期計画目標値	9回	12回		12回	
当該事業年度の目標達成状況		a(i)	《達成状況》 a:目標達成:(i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった b:目標未達成:(i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった		

外郭団体の自己評価	中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア:達成 イ:未達成(計画の見直しは不要) ウ:未達成(計画の見直しが必要)
	当該事業年度の達成状況について		
	関係会議への参加や主催回数が目標を上回り、実施目的である医療・福祉に関する支援を適切に実施するために欠かさない関係機関との連携基盤の維持及び強化、職員のスキルアップが図れたと考える。 サービスを必要とする対象者は複雑な課題を抱えており、適切に対応するためには高度な知識が必要であるほか、関係機関との連携から得られる情報を基に支援の幅を広げる必要があるため、日常的に職員間で勉強会や情報共有会を行い、個々のスキルアップを図ってきた。 その結果、相談件数(計8,891件<令和7年4月~12月実績>)のうち、聴取だけや身の上相談を除いた8,063件(約91%)は全て保留することなく、適切な対応を行い支援に結び付けることができている。		
	最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について		
サービスを必要としている対象者への適切な対応は、関係機関との連携基盤の維持及び強化や職員のスキルアップにかかる継続的な取組によって確立されると考えており、次年度以降も継続して実施する。			

市の審査	中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア:達成 イ:未達成(計画の見直しは不要) ウ:未達成(計画の見直しが必要)
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果		
	目標を上回る対象事業活動を実施しており、関係機関との連携強化及び職員のスキルアップに積極的に取り組んでおり、上記団体の自己評価に記載のとおり、相当数の相談に対して漏れなく適切に対応していることから、団体の自己評価は妥当である。		
	「様式1:中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A:有効であり、継続して推進 B:有効でないため、取組を見直す
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果		
医療・福祉に関する相談支援等のサービスを必要とする対象者に対する適切な支援は、関係機関との連携基盤の維持強化及び職員のスキルアップの継続的な実施により確立されるものである。 また、積極的な対象事業活動の展開により、関係機関と情報共有をしながら連携して支援を行う体制を整えることができ、地域における包括的な支援体制の構築にもつながるため、現時点では目標を達成できており、今後も継続して推進すべきものと考えている。			